

この事業を開始したきっかけ 昭和47年 飯田文化会館の開館	事業を取り巻く状況の変化 昭和63年 文化会館敷地内へ人形劇場を設置	事業に対する市民や議会の意見 文化会館は開館から35年を経過することから、市民から新しい施設、広い駐車場を求める意見がある。
----------------------------------	---------------------------------------	---

【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？ (評価) 結びつく (その理由) 日常的に施設設備の維持管理を行なうことで、安定して自己表現の場を提供できる。	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？ (評価) 余地がない (その理由) 老朽化が進む施設設備の維持が事業の前提であるため。
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？ (評価) 必要性がない (その理由) 対象は変わらない。		廃止・休止した場合の影響はありますか？ (評価) 影響あり (その理由) 施設の利用が不可能となる。
	意図の見直しの必要性はありますか？ (評価) 必要性がない (その理由) 意図するものは変わらない。		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む) (評価) 類似事業なし (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか) (評価) 必要ある (その理由) 市が設置した施設であり、安全で快適な環境を市民に提供する責務がある。		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む) (評価) 不可能 (その理由) 法定点検や施設設備の延命に不可欠な保守点検であり、事業を削減することはできない。また、必要最小限の人員で対応しているとともに、臨職化を図っている。
		効率性 評価	成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？ (評価) 妥当である (その理由) 施設使用料の改定を行い、平成16年度から適用している。市7割、利用者3割の負担割合も妥当と考える。ただし、減免については、公平性の観点から他の市有施設との調整が必要と考える。
		公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？ (評価) 妥当である (その理由) 施設使用料の改定を行い、平成16年度から適用している。市7割、利用者3割の負担割合も妥当と考える。ただし、減免については、公平性の観点から他の市有施設との調整が必要と考える。

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 実施年度 <input type="text"/> 具体化	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	必要性がない	(2) 必要性な場合の実施事由	
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？			

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	